

基本計画書

基本計画書										
事項		記入欄								
計画の区分		研究科等連係課程実施基本組織の設置（課程の変更）								
フリガナ設置者		コクリツダイガクホジシヨ Gunma Daigaku 国立大学法人 群馬大学								
フリガナ大学の名称		Gunma Daigaku Daigakuin 群馬大学大学院 (Gunma University Graduate School)								
大学本部の位置		群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地								
大学の目的		群馬大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。この目的に基づき、幅広く豊かな学識に立脚し、専門分野において創造性豊かに自立して研究活動を実践でき、高度な専門性・国際性を必要とする職業を担うための能力を身に付け、研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けている人物を養成する。								
新設研究科等の目的		公衆衛生分野・保健医療政策領域で活躍できる卓越した能力を持った人材を育成し、健康増進・疫病予防や、地域・国・地球レベルの健康への脅威への対処及び健康水準の格差是正の組織的な活動に寄与する。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部等】 パブリックヘルス学環（修士課程） 14条特例の実施
	研究科等連係課程実施基本組織 パブリックヘルス学環（博士後期課程）	3年	2人	－年次人	6人	博士（社会健康医学）	医学関係 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	令和8年4月第1年次	群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	
	連係協力研究科（Ⅰ） 医学系研究科 医科学専攻（博士課程）	4	55	－	224	博士（医学）	医学関係	平成15年4月第1年次	群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	
	医科学専攻からパブリックヘルス学環の内数とする入学定員数		1	－	3					
	連係協力研究科（Ⅱ） 保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）	3	10	－	30	博士（看護学） 博士（保健学）	保健衛生学関係（看護学関係） 保健衛生学関係（リハビリテーション関係） 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	平成23年4月第1年次	群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	
	保健学専攻からパブリックヘルス学環の内数とする入学定員数		1	－	3					
計			－	－	－					
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		情報学研究科 情報学専攻（博士後期課程）（4）（令和7年3月意見伺い） 研究科等連係課程実施基本組織 医理工レギュラトリーサイエンス学環（博士後期課程）（2）（令和7年7月設置報告） 理工学府 理工学専攻（博士後期課程）〔定員減〕（△4）（令和8年4月） 令和8年4月課程名称変更予定 情報学研究科 情報学専攻 パブリックヘルス学環 医理工レギュラトリーサイエンス学環 修士課程 → 博士前期課程 ※博士課程の設置に伴い、修士課程を博士前期課程に変更								

教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	研究科等連係課程実施基本組織 パブリックヘルス学環（博士後期課程）	9科目	7科目	0科目	16科目	16単位		
研 究 科 等 の 名 称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 （助 手 を 除 く）
		教授	准教授	講師	助教	計		
新 設 分	情報学研究科 情報学専攻（博士後期課程）	人 19 (19)	人 19 (19)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 38 (38)	人 0 (0)	人 2 (2)
	研究科等連係課程実施基本組織 パブリックヘルス学環（博士後期課程）	<0> 【17】 (17)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【17】 (17)	<0> 【0】 (0)	<0> 【22】 (22)
	研究科等連係課程実施基本組織 医理工レギュラトリーサイエンス学環 （博士後期課程）	<0> 【11】 (11)	<0> 【1】 (1)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【12】 (12)	<0> 【0】 (0)	<0> 【4】 (4)
	計	47 (47)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	67 (67)	0 (0)	— (—)
既 設 分	教育学研究科 教育実践高度化専攻（専門職学位課程）	8 (8)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	22 (22)
	情報学研究科 情報学専攻（博士前期課程）	25 (25)	22 (22)	2 (2)	0 (0)	49 (49)	0 (0)	45 (45)
	医学系研究科 生命医科学専攻（修士課程）	57 (57)	44 (44)	42 (42)	0 (0)	143 (143)	0 (0)	137 (137)
	医学系研究科 医科学専攻（博士課程）	57 【12】 (57)	43 (43)	43 (43)	0 (0)	143 (143)	0 (0)	111 (111)
	保健学研究科 保健学専攻（博士前期課程）	30 (30)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	100 (100)
	保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）	30 【9】 (30)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	45 (45)
	理工学府 理工学専攻（博士前期課程）	65 (65)	52 (52)	0 (0)	0 (0)	117 (117)	0 (0)	97 (97)
	理工学府 理工学専攻（博士後期課程）	65 【7】 (65)	52 【1】 (52)	0 (0)	0 (0)	117 (117)	0 (0)	34 (34)
	食健康科学研究科 食健康科学専攻（修士課程）	6 (6)	10 (10)	3 (3)	7 (0)	26 (26)	0 (0)	46 (46)
	研究科等連係課程実施基本組織 パブリックヘルス学環（博士前期課程）	18 (18)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	93 (93)
	研究科等連係課程実施基本組織 医理工レギュラトリーサイエンス学環 （博士前期課程）	13 (13)	2 (2)	0 (0)	10 (0)	25 (25)	0 (0)	90 (90)
	計	374 (374)	260 (260)	94 (94)	17 (17)	745 (745)	0 (0)	— (—)
合 計		421 (421)	280 (280)	94 (94)	17 (17)	812 (812)	0 (0)	— (—)

令和7年3月意見
伺い

令和7年7月設置
報告

令和7年7月設置
報告

注)
<>の中の数は研究科等連
係課程実施基本組織のみに
従事する専任教員。

【】の中の数は研究科等連
係課程実施基本組織と連係
協力研究科等に従事する専
任教員。

職 種				専 属		その他		計									
事 務 職 員				353 (353)		312 (312)		665 (665)									
技 術 職 員				1, 193 (1, 193)		160 (160)		1, 353 (1, 353)									
図 書 館 職 員				4 (4)		0 (0)		4 (4)									
そ の 他 の 職 員				1 (1)		574 (574)		575 (575)									
指 導 補 助 者				0 (0)		0 (0)		0 (0)									
計				1, 551 (1, 551)		1, 046 (1, 046)		2, 597 (2, 597)									
校 地 等	区 分			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計							
	校 舎 敷 地			480, 389㎡		0㎡		0㎡		480, 389㎡							
	そ の 他			151, 645㎡		0㎡		0㎡		151, 645㎡							
	合 計			632, 034㎡		0㎡		0㎡		632, 034㎡							
校 舎				専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計							
				156, 415㎡ (156, 415㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		156, 415㎡ (156, 415㎡)							
講 義 室 等 ・ 新 設 研 究 科 等 の 専 任 教 員 研 究 室				講義室		実験・実習室		演習室		新 設 研 究 科 等 の 専 任 教 員 研 究 室		大学全体の数					
				100室		866室		179室		17室							
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕種		機械・器具 点		標本 点		学部等単位での特 定不能なため、大学 全体の数		
	大学等全体		606, 590 〔180, 883〕 (606, 590 〔180, 883〕)		1, 702 〔351〕 (1, 702 〔351〕)		22, 800 〔10, 698〕 (22, 800 〔10, 698〕)		8, 051 〔6, 441〕 (8, 051 〔6, 441〕)		7, 225 (7, 225)		25 (25)				
	計		606, 590 〔180, 883〕 (606, 590 〔180, 883〕)		1, 702 〔351〕 (1, 702 〔351〕)		22, 800 〔10, 698〕 (22, 800 〔10, 698〕)		8, 051 〔6, 441〕 (8, 051 〔6, 441〕)		7, 225 (7, 225)		25 (25)				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分			開設前年度		第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次		第 5 年次		国費による
		教員 1 人当り研究費等					― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		
		共同研究費等					― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		
		図書購入費			― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		
		設備購入費			― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		
	学生 1 人当り 納付金				第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次		第 5 年次				
					― 千円		― 千円		― 千円		― 千円		― 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要					―												
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称群馬大学																
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号		収 容 定 員 充 足 率	開 設 年度	所在地						
	共同教育学部 学校教育教員養成課程		4 年	190 人	0 年次 人	760 人	学士 (教育学)		1. 07 倍	令和2年度	群馬県前橋市荒牧 町四丁目2番地						
	教育学部 学校教育教員養成課程		4	―	―	―	学士 (教育学)		―	平成11年度	同上						
	情報学部 情報学科		4	170	3年次 10	700	学士 (情報学)		1. 01	令和3年度	同上						
	社会情報学部 社会情報学科		4	―	―	―	学士 (社会情報学)		―	平成28年度	同上						
	医学部 医学科		6	110	2年次 15	725	学士 (医学)		1. 04	昭和24年度	群馬県前橋市昭和 町三丁目39番22号						
	保健学科		4	160	3年次 10	660	学士 (看護学) 学士 (保健学)		0. 98	平成8年度							

	理工学部 (昼間コース)								群馬県桐生市天神 町一丁目5番1号	
	物質・環境類	4	285	3年次 10	1,160	学士 (理工学)	1.01	令和3年度		
	電子・機械類	4	185	3年次 13	766	学士 (理工学)	1.04	令和3年度		
	化学・生物化学科	4	—	—	—	学士 (理工学)	—	平成25年度		
	機械知能システム理工学科	4	—	—	—	学士 (理工学)	—	平成25年度		
	環境創生理工学科	4	—	—	—	学士 (理工学)	—	平成25年度		
	電子情報理工学科	4	—	—	—	学士 (理工学)	—	平成25年度		
	(夜間主コース)									
	総合理工学科	4	—	—	—	学士 (理工学)	—	平成25年度		
	教育学研究科 教育実践高度化専攻 (専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.25	令和2年度	群馬県前橋市荒牧 町四丁目2番地	
	情報学研究科 情報学専攻 (修士課程)	2	60	—	120	修士 (情報学)	0.65	令和6年度	同上	
	社会情報学研究科 社会情報学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (社会情報学)	—	平成10年度	同上	
	医学系研究科 生命医学専攻 (修士課程)	2	13	—	28	修士 (生命医科学)	1.33	平成19年度	群馬県前橋市昭和 町三丁目39番22号	
			【3】		【6】					令和7年度入学定員 減(△2人) パブリックヘルス学環修士 課程の内数とする入学定員
			【3】		【6】					医理エレギュラトリーサイ エンス学環修士課程の内数 とする入学定員
	医科学専攻 (博士課程)	4	55	—	226	博士 (医学)	0.77	平成15年度		令和7年度入学定員 減(△2人)
	保健学研究科 保健学専攻 (博士前期課程)	2	50	—	100	修士 (看護学) 修士 (保健学)	0.97	平成23年度	同上	
			【2】		【4】					パブリックヘルス学環修士 課程の内数とする入学定員
	保健学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (看護学) 博士 (保健学)	1.00	平成23年度		
	理工学府 理工学専攻 (博士前期課程)	2	223	—	477	修士 (理工学)	1.31	平成25年度	群馬県桐生市天神 町一丁目5番1号	
			【2】		【4】					令和7年度入学定員 減(△31人) 医理エレギュラトリーサイ エンス学環修士課程の内数 とする入学定員
	理工学専攻 (博士後期課程)	3	34	—	112	博士 (理工学)	0.84	平成25年度		令和7年度入学定員 減(△5人)

	食健康科学研究科 食健康科学専攻 (修士課程)	2	40	—	40	修士 (食健康科学)	—	令和7年度	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号 群馬県桐生市天神町一丁目5番1号	令和7年度設置
	パブリックヘルス学環 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (社会健康医学)	1. 20	令和6年度	群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	
	医理工レギュラトリーサイエンス学環 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (医理工学)	1. 20	令和6年度	群馬県桐生市天神町一丁目5番1号 群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	
附属施設の概要	名 称：群馬大学医学部附属病院 目 的：患者の安全を第一とする高度な医療安全管理体制を確保し，その体制下で先進的医療を提供するとともに，次代を担う医療人育成のための教育及び研究を行うことを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市昭和町三丁目39番15号 設置年月：昭和24年 5 月 規 模 等：建物92,547㎡ 名 称：医学系研究科附属生物資源センター 目 的：実験動物の飼育管理及び高次の実験を行い，医学教育及び研究の向上発展に資することを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号 設置年月：平成15年 4 月 規 模 等：建物4,986㎡ 名 称：医学系研究科附属薬剤耐性菌実験施設 目 的：種々の病原菌を用い，疫学，生化学及び分子遺伝学的方法をもって，薬剤耐性菌についての基礎的及び応用的課題を解明するとともに，薬剤耐性菌の収集・保存及び配布することを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号 設置年月：平成15年 4 月 規 模 等：建物251㎡ 名 称：共同教育学部附属教育実践センター 目 的：教育実践に関する臨床の学の創出を目指し，教育関係諸機関と連携し，教育実習，教育実践及び教育相談に関する理論的・実践的研究を行うとともに，それらの成果を踏まえた教育，研修及び支援を行い，豊かな教育実践力と子どもの成長をめぐる諸問題の解決力を身につけた学校教員の養成及び学校の教育力の向上に寄与することを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市荒牧町四丁目 2 番地 設置年月：令和 2 年 4 月 規 模 等：建物228㎡ 名 称：共同教育学部附属小学校 目 的：普通教育のうち基礎的なものを施し，かつ小学校教育の理論及び実際に関する研究並びに実証に寄与するとともに，共同教育学部学生の実習の実施に当たることを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市若宮町二丁目 8 番 1 号 設置年月：昭和26年 4 月 規 模 等：土地29,753㎡（附属特別支援学校と共有）， 建物8,365㎡ 名 称：共同教育学部附属中学校 目 的：普通教育を施し，かつ中学校教育の理論及び実際に関する研究並びに実証に寄与するとともに，共同教育学部学生の実習の実施に当たることを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市上沖町612番地 設置年月：昭和26年 4 月 規 模 等：土地37,430㎡， 建物6,700㎡ 名 称：共同教育学部附属特別支援学校 目 的：知的障害者に対して，小学校，中学校又は高等学校に準ずる教育を施し，あわせて自立を図るために必要な知識技能を授け，かつ教育の理論及び実際に関する研究並びに実証に寄与するとともに，共同教育学部学生の実習の実施に当たることを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市若宮町二丁目 8 番 1 号 設置年月：昭和54年 4 月 規 模 等：土地29,753㎡（附属小学校と共有）， 建物4,008㎡ 名 称：共同教育学部附属幼稚園 目 的：幼児を保育し，適当な環境を与えて，その心身の発達を助長するとともに，幼児の保育に関する研究及び共同教育学部学生の実習の実施に当たることを目的とする。 所 在 地：群馬県前橋市若宮町二丁目 5 番 3 号 設置年月：昭和26年 4 月 規 模 等：土地5,150㎡， 建物978㎡									

国立大学法人群馬大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
群馬大学				群馬大学				
共同教育学部 学校教育教員養成課程	190	－	760	共同教育学部 学校教育教員養成課程	190	－	760	
情報学部 情報学科	170 ^{3年次}	10	700	情報学部 情報学科	170 ^{3年次}	10	700	
医学部 医学科	110 ^{2年次}	15	635	医学部 医学科	90 ^{2年次}	15	615	定員変更（△20）
保健学科	160 ^{3年次}	10	660	保健学科	160 ^{3年次}	10	660	医学部医学科の入学定員20名の増加については、令和7年度までの措置。
理工学部 物質・環境類	285 ^{3年次}	10	1,160	理工学部 物質・環境類	285 ^{3年次}	10	1,160	
電子・機械類	185 ^{3年次}	13	766	電子・機械類	185 ^{3年次}	13	766	
計	1,100 ^{2年次 3年次}	15 43	4,681	計	1,080 ^{2年次 3年次}	15 43	4,661	定員変更（△20）
群馬大学大学院				群馬大学大学院				
教育学研究科 教育実践高度化専攻（P）	20	－	40	教育学研究科 教育実践高度化専攻（P）	20	－	40	
情報学研究科 情報学専攻（M）	60	－	120	情報学研究科 情報学専攻（M） 情報学専攻（D）	60 4	－ ＝	120 12	課程変更（意見伺い）
医学系研究科 生命医科学専攻（M） （うち、生命医科学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	13 (3)	－ －	26 (6)	医学系研究科 生命医科学専攻（M） （うち、生命医科学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	13 (3)	－ －	26 (6)	
（うち、生命医科学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	(3)	－	(6)	（うち、生命医科学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	(3)	－	(6)	
医科学専攻（D）	55	－	220	医科学専攻（D） （うち、医科学専攻（D）からパブリックヘルス学環（D）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	55 (1)	－ －	220 (3)	
保健学研究科 保健学専攻（M） （うち、保健学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	50 (2)	－ －	100 (4)	保健学研究科 保健学専攻（M） （うち、保健学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	50 (2)	－ －	100 (4)	
保健学専攻（D）	10	－	30	保健学専攻（D） （うち、保健学専攻（D）からパブリックヘルス学環（D）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	10 (1)	－ －	30 (3)	
理工学府 理工学専攻（M） （うち、理工学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	223 (2)	－ －	446 (4)	理工学府 理工学専攻（M） （うち、理工学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	223 (2)	－ －	446 (4)	
理工学専攻（D）	34	－	102	理工学専攻（D） （うち、理工学専攻（D）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（D）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	30 (1)	－ －	90 (3)	定員変更（△4）
食健康科学研究科 食健康科学専攻（M）	40	－	80	食健康科学研究科 食健康科学専攻（M）	40	－	80	
パブリックヘルス学環（M）	(5)	－	(10)	パブリックヘルス学環（M） パブリックヘルス学環（D）	(5) (2)	－ ＝	(10) (6)	研究科等連係課程実施基本組織課程変更（設置報告）
医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）	(5)	－	(10)	医理工レギュラトリーサイエンス学環（M） 医理工レギュラトリーサイエンス学環（D）	(5) (2)	－ ＝	(10) (6)	研究科等連係課程実施基本組織課程変更（設置報告）
計	505	－	1,164	計	505	－	1,164	

設 置 の 前 後 に お け る 学 位 等 及 び 基 幹 教 員 の 所 属 の 状 況

届 出 時 に お け る 状 況						新 設 了 学 部 等 の 学 年 進 行 状 況					
学部等の名称	授与する学位等		異 動 先	基幹教員		学部等の名称	授与する学位等		異 動 元	基幹教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
医学系研究科 医科学専攻 (博士課程)	博士 (医科学)	医学関係	パブリックヘルス学環 (博士後期課程) (兼務)	8	8	パブリックヘルス学環 (博士後期課程)	博士 (社会健康医学)	医学関係 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	医学系研究科 医科学専攻 (博士課程) (兼務)	8	8
			医学系研究科 医科学専攻 (博士課程)	131	45				保健学研究科 保健学専攻 (博士後期課程) (兼務)	9	9
			医理エリギュラトリーサイエンス学環 (博士後期課程) (兼務)	4	4						
			計	143	57				計	17	17
保健学研究科 保健学専攻 (博士後期課程)	博士 (保健学) 博士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係) 保健衛生学関係 (リハビリテーション関係) 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	パブリックヘルス学環 (博士後期課程) (兼務)	9	9	医学系研究科 医科学専攻 (博士課程)	博士 (医科学)	医学関係	パブリックヘルス学環 (博士後期課程) (兼務)	8	8
			保健学研究科 保健学専攻 (博士後期課程)	35	21				医学系研究科 医科学専攻 (博士課程)	131	45
									医理エリギュラトリーサイエンス学環 (博士後期課程) (兼務)	4	4
			計	44	30				計	143	57
						保健学研究科 保健学専攻 (博士後期課程)	博士 (保健学) 博士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係) 保健衛生学関係 (リハビリテーション関係) 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	パブリックヘルス学環 (博士後期課程) (兼務)	9	9
									保健学研究科 保健学専攻 (博士後期課程)	35	21
									計	44	30

基礎となる学部等の改編状況

開設又は 改編時期	改 編 内 容 等	学 位 又 は 学 科 の 分 野	手 続 きの 区 分
平成13年4月	医学系研究科 保健学専攻(博士前期課程) 設置	保健衛生学関係	設置認可(研究科)
平成15年4月	医学系研究科 保健学専攻(博士後期課程) 設置	保健衛生学関係	設置認可(研究科)
平成15年4月	医学系研究科 医科学専攻(博士課程) 設置	医学関係	設置認可(研究科)
平成19年4月	医学系研究科 生命医科学専攻(修士課程) 設置	医学関係	設置認可(研究科)
平成23年4月	保健学研究科 保健学専攻(博士前期課程)(博士後期課程) 設置	保健衛生学関係	設置報告(研究科)
平成23年4月	医学系研究科 保健学専攻の学生募集停止	-	学生募集停止(専攻)
令和6年4月	パブリックヘルス学環(修士課程) 設置	医学関係、保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織)
令和8年4月	パブリックヘルス学環(博士後期課程) 設置 修士課程を博士前期課程に変更	医学関係、保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織)

教 育 課 程 等 の 概 要																
(パブリックヘルス学環 博士後期課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員(助手を除く)	
基礎科目	研究倫理※	1前		1			○			2					4	オムニバス メディア 共同 オムニバス オムニバス・共同 標準外 標準外 標準外
	研究倫理 (e-learning)	1通		1			○			1						
	医科学英語論文作成演習	1後			1			○							2	
	医療人のための教育学Ⅰ	1・2前			2		○			1					4	
	医療人のための教育学Ⅱ	1・2後			2		○			1					4	
	医学哲学・倫理学セミナー	1・2通			2			○							1	
	保健学特別セミナー	1・2通			2		○			1						
	社会貢献促進セミナー	1・2通			2			○		1						
	小計 (8科目)	—	—	2	11	0	—			3	0	0	0	0	12	
専門科目	臨床疫学特論	1・2後			2		○								1	オムニバス・共同 オムニバス オムニバス オムニバス・共同
	システマティック・レビュー実習	1・2通			1			○		1					2	
	社会医学・行動科学	1・2後		2			○			1					4	
	医療政策学・医療経済学特講	1・2後			2		○			1					3	
	医療サービス研究・質評価実習	1・2通			1			○		1					2	
	医療の質・安全学講義Ⅰ	1・2後			2		○			1						
	医療の質・安全学演習	1・2後			2			○		1						
	小計 (7科目)	—	—	2	10	0	—			3	0	0	0	0	10	
研究別	パブリックヘルス特別研究	1・2・3通		8	0	0		○		17	0	0	0	0	0	
	小計 (1科目)	—		—	8	0	0	—			17	0	0	0	0	
合計 (16科目)		—	—	12	21	0	—			17	0	0	0	0	22	
学位又は称号		博士 (社会健康医学)		学位又は学科の分野					医学関係 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
修了要件は、以下の要件を満たし、16単位以上を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 1. 基礎科目から必修科目2単位を含めて2単位以上を修得 2. 専門科目から必修科目2単位を含めて3科目6単位以上を修得 3. 特別研究を8単位修得 ※パブリックヘルス学環修士課程 (令和8年度から博士前期課程) で研究倫理及び研究倫理 (e-learning) の単位を修得済の場合は、研究倫理の履修は不要であるが、別途既修得単位認定の申請を行ったうえで、研究倫理 (e-learning) のみ履修する。									1 学年の学期区分				2期			
									1 学期の授業期間				15週			
									1 時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																
（パブリックヘルス学環 博士前期課程（修士課程））																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
大学院 共通科目	アカデミック・コミュニケーション Research Skills - Presentation and Writing 効果的なプレゼンスキルとライティングスキル	1後		2			○								4	オムニバス
	小計（1科目）	—	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	4	
	サイエンス Pythonによる数理解析	1後			2		○								1	
	画像処理と実践応用演習	1後			2		○								1	
	小計（2科目）	—	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	2	
	サイエンス レギュラトリーサイエンス概論	1後		2			○								16	
	小計（1科目）	—	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	16	
連携 開放科目	医学一般 病態生理学	1・2前			2		○			5					5	オムニバス
	生理機能解析学（応用生理）	1・2後			2		○			1						オムニバス
	病理学概論	1・2後			2		○								5	
	臨床医学概論A	1・2前			2		○								15	
	行動科学	1前			1		○								2	
	地域・国際保健 地域保健医療研究概論	1・2前			2		○			2					14	オムニバス 共同（一部）
	国際協力・保健学特論	1・2通			2		○			1					1	オムニバス
	倫理 研究倫理	1・2前		1			○			1						
	研究倫理（e-learning）	1・2前		1			○			1						
	医療倫理学特論	1・2前			2		○								1	
	サイエンス 統計・情報処理演習A	1・2前			2			○		1					2	オムニバス
	情報医療学講義	2前			2		○								2	オムニバス
	基礎保健データ解析学	1・2前			2		○			1					2	オムニバス
	臨床試験演習	1・2前			2			○		3						集中 オムニバス
	ヘルスコミュニケーション論	1・2通			2		○				1				2	
	医療人のための教育学Ⅰ	1・2前			2		○			1					4	
	ゲノム ゲノム医科学演習	1・2前			2			○							2	オムニバス
	遺伝学	1・2後			1		○			1						
	小計（16科目）	—	—	2	30	0	—			12	1	0	0	0	53	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 (助手を除く)の教員		
教育専門コア科目	環境保健学	環境保健学	1前			2		○				1					5	オムニバス
	疫学	疫学	1後			2		○				1					1	オムニバス
	生物統計	臨床試験特論	1後			2		○				3					8	オムニバス 共同(一部)
		生物統計学	1後			2		○				1					5	オムニバス
	医療政策学	医療政策学・医療経済学特論	1後			2		○				1					1	オムニバス
	行動科学・社会科学	社会・環境医学講義A	1前			2		○				1					2	オムニバス
		小計(6科目)	—	—	0	12	0	—			5	0	0	0	0	17		
インターンシップ	インターンシップⅠ	1・2通				1			○			18	2					
	インターンシップⅡ	1・2通				2			○			18	2					
	国際インターンシップⅠ	1・2通				1			○			18	2					
	国際インターンシップⅡ	1・2通				2			○			18	2					
			小計(4科目)	—	—	0	6	0	—			18	2	0	0	0	0	
特別研究	特別研究	1・2通			12				○			17	1					
			小計(1科目)	—	—	12	0	0	—			17	1	0	0	0	0	
		合計(31科目)	—	—	18	52	0	—			18	2	0	0	0	0	87	
学位又は称号		修士(社会健康医学)			学位又は学科の分野			医学関係 保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)										
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等								
修了要件は、以下の要件を満たし、32単位以上を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 1. 大学院共通科目6単位以上を修得する(アカデミックコミュニケーションから2単位、データサイエンスから2単位以上、レギュラトリーサイエンスから2単位)。 2. 連携開放科目から必修科目2単位(研究倫理、研究倫理(e-learning))及び医学一般から2単位以上を含む、合計6単位以上を修得する。ただし、医療系学部出身者は「医学一般」以外の科目から4単位以上を修得(「医学一般」は非医療系学部出身者が対象のため、履修しても修了要件単位に算入されない)。 3. 教育専門コア科目の各領域(5領域)から1科目ずつ以上修得し、合計8単位以上を修得する。必修科目である大学院共通科目・レギュラトリーサイエンス概論で行動科学の内容を扱うため、社会医学・行動科学領域の社会・環境医学講義Aの履修は自由とする。 4. 特別研究を12単位修得する。										1 学年の学期区分				2期				
										1 学期の授業期間				15週				
										1 時限の授業の標準時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学系研究科 医科学専攻 博士課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員	
共通科目	基礎連続講義	研究倫理		1			○			2		1			4	集中講義
		研究倫理 (e-learning)		1			○					1			1	メディア
		脳神経科学講義			1		○			4	3	1				オムニバス
		内分泌・発達・代謝学講義			1		○			5	3					オムニバス
		腫瘍学講義			1		○			5	3					オムニバス
		重粒子線臨床医工学講義 (*)			1		○			2	1	5			4	
		重粒子線基礎医工学講義 (*)			1		○			1					4	
		放射線診断核医学講義 (**)			1		○			1	1	1				
		感染症・免疫学講義			1		○			2	2	1			1	オムニバス
		社会医学講義			1		○			2					2	
	小計 (10科目)		—	2	8	0	—			23	12	12	0	0	15	
	医学基礎技術実習	実験基本技術			1				○	6	3				3	オムニバス
		バイオインフォマティクス実習			1				○	1	1					
		小動物操作基礎技術			1				○	1	2				3	
		細胞培養基礎技術			1				○	1	1				1	
		遺伝子解析基礎技術			1				○	1	1	1			2	
		蛋白発現基礎技術			1				○	1	1				1	
		微小形態・病理学実習			1				○	3	2	4				
		蛋白化学実習			1				○	1	1	1			2	
		胚操作技術			1				○	1	1				1	
		in vitro神経活動計測			1				○	1						
		放射線生物学実習 (*)			1				○	1					1	
		医科学英語論文作成実習 (*)			1				○	1	1					
		放射線測定実習 (*)			1				○	1					2	
		生体イメージング実習			1				○	2					1	
		システマティック・レビュー実習			1				○	1						
		医療サービス研究・質評価学実習			1				○	1						
	小計 (16科目)		—	0	16	0	—			11	5	4	0	0	9	
	生命倫理 ナイン 公開セ ミナー	社会貢献促進セミナー		2				○		2					2	
		医学哲学・倫理学セミナー		2				○		1	1					
	小計 (2科目)		—	4	0	0	—			3	1	0	0	0	2	
	研究成果 考察セ ミナー	脳神経科学セミナーⅠ			1			○		1	1	1			1	
		脳神経科学セミナーⅡ			1			○		1	1	1			1	
		内分泌・発達・代謝学セミナーⅠ			1			○		1	1	1				
		内分泌・発達・代謝学セミナーⅡ			1			○		9						
		腫瘍学セミナーⅠ			1			○		7						
		腫瘍学セミナーⅡ			1			○		7						
		感染症・免疫学セミナーⅠ			1			○		2	2	1			2	
		感染症・免疫学セミナーⅡ			1			○		2	2	1			2	
		社会医学セミナーⅠ			1			○		2					2	
		社会医学セミナーⅡ			1			○		2					2	
	小計 (10科目)		—	0	10	0	—			20	4	3	0	0	5	
	研究 発表 ナイン 討論 セ ミ 表	研究発表討論セミナーⅠ		1			○			1						
		研究発表討論セミナーⅡ		1			○			1						
	小計 (2科目)		—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	0	
	がん プロ 共 通 科 目	臨床研究と生物統計学			1		○			1	1					
		生命倫理と法的規則			1		○			2						
		基礎腫瘍学			1		○			1	1	1				
		臨床腫瘍学概論			1		○			1		1			1	
		精神・社会腫瘍学と患者教育			1		○			1						
		医療ケアとチーム医療			1		○			1	1					
		がんゲノム医療学			1		○			1						
		小児・AYA・希少がん学			1		○			1						
		ライフステージに応じたがん医療学			1		○			1						

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学系研究科 医科学専攻 博士課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹(助手を除く)教員	
日	がん治療を支える多領域	1～4通			1		○			1						
	がんデータ科学推進	1～4通			1		○			1						
	がん治療イノベーション	1～4通			1		○			1						
	小計（12科目）	—		0	12	0	—			9	3	2	0	0	1	
特別講義	機能形態学講義	1後・2前			4		○			1	1				1	
	生体構造学講義	1後・2前			4		○			1		2			2	
	分子細胞生物学講義	1後・2前			4		○			1						
	生化学講義	1後・2前			4		○			1	1	1			2	
	応用生理学講義	1後・2前			4		○			1					1	
	脳神経再生医学講義	1後・2前			4		○			1	1	1			1	
	薬理学講義	1後・2前			4		○			1					2	
	遺伝発達行動学講義	1後・2前			4		○			1						
	細菌学講義	1後・2前			4		○			1	2				1	
	生体防御学講義	1後・2前			4		○			2		1				
	公衆衛生学講義	1後・2前			4		○			2					2	
	法医学講義	1後・2前			4		○			1					1	
	医学哲学・倫理学講義	1後・2前			4		○			1		1				
	医学教育開発学講義	1後・2前			4		○			1		1			2	
	循環器内科学講義	1後・2前			4		○			2	3	2			2	
	呼吸器・アレルギー内科学講義	1後・2前			4		○				1					
	消化器・肝臓内科学講義	1後・2前			4		○			1						
	内分泌代謝内科学講義	1後・2前			4		○				1	2			2	
	腎臓・リウマチ内科学講義	1後・2前			4		○			1		1			2	
	血液内科学講義	1後・2前			4		○				1					
	脳神経内科学講義	1後・2前			4		○			1					1	
	腫瘍内科学講義	1後・2前			4		○			1						
	循環器外科学講義	1後・2前			4		○			1						
	呼吸器外科学講義	1後・2前			4		○			2					3	
	消化管外科学講義	1後・2前			4		○			1	1	1			1	
	乳腺・内分泌外科学講義	1後・2前			4		○				1					
	肝胆膵外科学講義	1後・2前			4		○			1		1			2	
	小児外科学講義	1後・2前			4		○			1					1	
	腫瘍放射線学講義	1後・2前			4		○			2	3	1			4	
	放射線診断核医学講義	1後・2前			4		○			1	1	1				
	神経精神医学講義	1後・2前			4		○				1	2				
	麻酔神経科学講義	1後・2前			4		○			1	1					
	救急医学講義	1後・2前			4		○			1					5	
	総合医療学講義	1後・2前			4		○			1	1					
	リハビリテーション医学講義	1後・2前			4		○			1	1					
	臨床検査医学講義	1後・2前			4		○				3	1			2	
	病態病理学講義	1後・2前			4		○			1	1	1				
	病理診断学講義	1後・2前			4		○			1	1	1			1	
	小児科学講義	1後・2前			4		○			1	1	1				
	産科婦人科学講義	1後・2前			4		○			1	1	2			1	
	泌尿器科学講義	1後・2前			4		○			1		4			3	
	脳神経外科学講義	1後・2前			4		○			1	1	2				
	眼科学講義	1後・2前			4		○			1	1	1				
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講義	1後・2前			4		○			1	1	1				
	皮膚科学講義	1後・2前			4		○			1	1	2			1	
	形成外科学講義	1後・2前			4		○			1						
	整形外科講義	1後・2前			4		○			1	1	1			2	
	臨床薬理学講義	1後・2前			4		○			1	1					
	口腔顎顔面外科学講義	1後・2前			4		○			1						
	医療の質・安全学講義	1後・2前								1						

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学系研究科 医科学専攻 博士課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外を除く教員	
専門 科目	臨床試験学講義	1後・2前			4		○			1					2	
	情報医療学講義	1後・2前			4		○				2				2	
	細胞構造講義	1後・2前			4		○			1	1				1	
	代謝エビジェネティクス講義	1後・2前			4		○			1		1			1	
	生体膜機能講義	1後・2前			4		○			2					2	
	個体代謝生理学講義	1後・2前			4		○			1					1	
	内分泌・代謝システム制御講義	1後・2前			4		○			1	1					
	分子糖代謝制御講義	1後・2前			4		○			1	1				2	
	代謝疾患医学講義	1後・2前			4		○			1						
	粘膜エコシステム制御講義	1後・2前			4		○			1	1					
	ゲノム科学リソース講義	1後・2前			4		○			1	1				1	
	代謝シグナル解析講義	1後・2前			4		○			1		1			1	
	重粒子線医学物理学講義	1後・2前			4		○			2					1	
	重粒子線医学生物学講義	1後・2前			4		○			2					1	
	重粒子線臨床医学講義	1後・2前			4		○			1						
	食健康科学講義	1後・2前			4		○			1						
	数理データ科学講義	1後・2前			4		○			1	1					
	小計（68科目）	—	—	0	272	0	—	—	—	58	38	40	0	0	62	
	機能形態学演習	1後			2			○		1	1				1	
	生体構造学演習	1後			2			○		1		2			2	
	分子細胞生物学演習	1後			2			○		1						
	生化学演習	1後			2			○		1	1	1			2	
	応用生理学演習	1後			2			○		1					1	
	脳神経再生医学演習	1後			2			○		1	1	1			1	
	薬理学演習	1後			2			○		1					2	
	遺伝発達行動学演習	1後			2			○		1						
	細菌学演習	1後			2			○		1	2				1	
	生体防御学演習	1後			2			○		2		1				
	公衆衛生学演習	1後			2			○		2					2	
	法医学演習	1後			2			○		1					1	
	医学哲学・倫理学演習	1後			2			○		1		1				
	医学教育開発学演習	1後			2			○		1		1			2	
	循環器内科学演習	1後			2			○		2	3	2			2	
	呼吸器・アレルギー内科学演習	1後			2			○			1					
	消化器・肝臓内科学演習	1後			2			○		1						
	内分泌代謝内科学演習	1後			2			○			1	2			2	
	腎臓・リウマチ内科学演習	1後			2			○		1		1			2	
	血液内科学演習	1後			2			○			1					
	脳神経内科学演習	1後			2			○		1					1	
	腫瘍内科学演習	1後			2			○		1						
	循環器外科学演習	1後			2			○		1						
	呼吸器外科学演習	1後			2			○		2					3	
	消化管外科学演習	1後			2			○		1	1	1			1	
	乳腺・内分泌外科学演習	1後			2			○			1					
	肝胆膵外科学演習	1後			2			○		1		1			2	
	小児外科学演習	1後			2			○		1					1	
	腫瘍放射線学演習	1後			2			○		2	3	1			4	
	放射線診断核医学演習	1後			2			○		1	1	1				
	神経精神医学演習	1後			2			○			1	2				
	麻酔神経科学演習	1後			2			○		1	1					
	救急医学演習	1後			2			○		1					5	
	総合医療学演習	1後			2			○		1	1					
	リハビリテーション医学演習	1後			2			○		1	1					
	臨床検査医学演習	1後					○				3	1			2	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学系研究科 医科学専攻 博士課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
日 ル 演 習	病態病理学演習	1 後			2			○		1	1	1				
	病理診断学演習	1 後			2			○		1	1	1			1	
	小児科学演習	1 後			2			○		1	1	1				
	産科婦人科学演習	1 後			2			○		1	1	2			1	
	泌尿器科学演習	1 後			2			○		1		4			3	
	脳神経外科学演習	1 後			2			○		1	1	2				
	眼科学演習	1 後			2			○		1	1	1				
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習	1 後			2			○		1	1	1				
	皮膚科学演習	1 後			2			○		1	1	2			1	
	形成外科学演習	1 後			2			○		1						
	整形外科演習	1 後			2			○		1	1	1			2	
	臨床薬理学演習	1 後			2			○		1	1					
	口腔顎顔面外科学演習	1 後			2			○		1						
	医療の質・安全学演習	1 後			2			○		1						
	臨床試験学演習	1 後			2			○		1					2	
	情報医療学演習	1 後			2			○			2				2	
	細胞構造演習	1 後			2			○		1	1				1	
	代謝エビジェネティクス演習	1 後			2			○		1		1			1	
	生体膜機能演習	1 後			2			○		2					2	
	個体代謝生理学演習	1 後			2			○		1					1	
	内分泌・代謝システム制御演習	1 後			2			○		1	1					
	分子糖代謝制御演習	1 後			2			○		1	1				2	
	代謝疾患医学演習	1 後			2			○		1						
	粘膜エコシステム制御演習	1 後			2			○		1	1					
	ゲノム科学リソース演習	1 後			2			○		1	1				1	
	代謝シグナル解析演習	1 後			2			○		1		1			1	
	重粒子線医学物理学演習	1 後			2			○		1					7	
	重粒子線医学生物学演習	1 後			2			○		1					1	
	重粒子線臨床医学演習	1 後			2			○		2	1	4			4	
	食健康科学演習	1 後			2			○		1						
	数理データ科学演習	1 後			2			○		1	1					
	遺伝子治療学演習	1 後			2			○		1	1					
	小計（68科目）	—	—	0	136	0	—			58	38	40	0	0	62	
	機能形態学実習	2 前・2 後			2				○	1	1				1	
	生体構造学実習	2 前・2 後			2				○	1		2			2	
	分子細胞生物学実習	2 前・2 後			2				○	1						
	生化学実習	2 前・2 後			2				○	1	1	1			2	
	応用生理学実習	2 前・2 後			2				○	1					1	
	脳神経再生医学実習	2 前・2 後			2				○	1	1	1			1	
	薬理学実習	2 前・2 後			2				○	1					2	
	遺伝発達行動学実習	2 前・2 後			2				○	1						
	細菌学実習	2 前・2 後			2				○	1	2				1	
	生体防御学実習	2 前・2 後			2				○	2		1				
	公衆衛生学実習	2 前・2 後			2				○	2					2	
	法医学実習	2 前・2 後			2				○	1					1	
	医学哲学・倫理学実習	2 前・2 後			2				○	1		1				
	医学教育開発学実習	2 前・2 後			2				○	1		1			2	
	循環器内科学実習	2 前・2 後			2				○	2	3	2			2	
	呼吸器・アレルギー内科学実習	2 前・2 後			2				○		1					
	消化器・肝臓内科学実習	2 前・2 後			2				○	1						

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学系研究科 医科学専攻 博士課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹 教員 (助手を除く) 以外の 教員	
専門分野 技術実習	内分泌代謝内科学実習	2前・2後			2				○		1	2			2	
	腎臓・リウマチ内科学実習	2前・2後			2				○	1		1			2	
	血液内科学実習	2前・2後			2				○		1					
	脳神経内科学実習	2前・2後			2				○	1					1	
	腫瘍内科学実習	2前・2後			2				○	1						
	循環器外科学実習	2前・2後			2				○	1						
	呼吸器外科学実習	2前・2後			2				○	2					3	
	消化管外科学実習	2前・2後			2				○	1	1	1			1	
	乳腺・内分泌外科学実習	2前・2後			2				○		1					
	肝胆膵外科学実習	2前・2後			2				○	1		1			2	
	小児外科学実習	2前・2後			2				○	1					1	
	腫瘍放射線学実習	2前・2後			2				○	2	3	1			4	
	放射線診断核医学実習	2前・2後			2				○	1	1	1				
	神経精神医学実習	2前・2後			2				○		1	2				
	麻酔神経科学実習	2前・2後			2				○	1	1					
	救急医学実習	2前・2後			2				○	1					5	
	総合医療学実習	2前・2後			2				○	1	1					
	リハビリテーション医学実習	2前・2後			2				○	1	1					
	臨床検査医学実習	2前・2後			2				○		3	1			2	
	病態病理学実習	2前・2後			2				○	1	1	1				
	病理診断学実習	2前・2後			2				○	1	1	1			1	
	小児科学実習	2前・2後			2				○	1	1	1				
	産科婦人科学実習	2前・2後			2				○	1	1	2			1	
	泌尿器科学実習	2前・2後			2				○	1		4			3	
	脳神経外科学実習	2前・2後			2				○	1	1	2				
	眼科学実習	2前・2後			2				○	1	1	1				
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習	2前・2後			2				○	1	1	1				
	皮膚科学実習	2前・2後			2				○	1	1	2			1	
	形成外科学実習	2前・2後			2				○	1						
	整形外科実習	2前・2後			2				○	1	1	1			2	
	臨床薬理学実習	2前・2後			2				○	1	1					
	口腔顎顔面外科学実習	2前・2後			2				○	1						
	医療の質・安全学実習	2前・2後			2				○	1						
	臨床試験学実習	2前・2後			2				○	1					2	
	情報医療学実習	2前・2後			2				○		2				2	
	細胞構造実習	2前・2後			2				○	1	1				1	
	代謝エビジェネティクス実習	2前・2後			2				○	1		1			1	
	生体膜機能実習	2前・2後			2				○	2					2	
	個体代謝生理学実習	2前・2後			2				○	1					1	
	内分泌・代謝システム制御実習	2前・2後			2				○	1	1					
	分子糖代謝制御実習	2前・2後			2				○	1	1				2	
	代謝疾患医学実習	2前・2後			2				○	1						
	粘膜エコシステム制御実習	2前・2後			2				○	1	1					
	ゲノム科学リソース実習	2前・2後			2				○	1	1				1	
	代謝シグナル解析実習	2前・2後			2				○	1		1			1	
	重粒子線医学物理学実習	2前・2後			2				○	1					7	
	重粒子線医学生物学実習	2前・2後			2				○	1					1	
	重粒子線臨床医学実習	2前・2後			2				○	1	1	2				
	食健康科学実習	2前・2後			2				○	1						
	数理データ科学実習	2前・2後			2				○	1	1					
	遺伝子治療学実習	2前・2後			2				○	1	1					
	小計（68科目）	—	—	0	136	0	—			58	38	40	0	0	62	
合計（256科目）		—	—	8	590	0	—			58	43	43	0	0	80	

学位又は称号	博士（医学）		学位又は学科の分野	医学関係
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
修了要件は、以下の要件を満たし、博士課程に4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者と医学系研究科長が認めた場合は、3年以上在学すれば足りるものとする。			1 学年の学期区分	2 期
			1 学期の授業期間	15週
			1 時限の授業時間	90分
1. 共通科目 14単位 (1) 基礎連続講義 指導教員が指定する科目 1 単位を含み、3 単位以上を履修する。 ・「研究倫理」及び「研究倫理（e-learning）」は必修。ただし、本研究科生命医科学専攻、保健学研究科保健学専攻前期課程及び学環において「研究倫理」を修得済みの場合は履修不要。「研究倫理（e-learning）」のみ受講する。）「がんプロ共通科目」（e-learning）を1 単位まで含むことができる。 ・「関東次世代がん専門医療人養成コース」の者は、「研究倫理」及び「研究倫理（e-learning）」以外は必修ではない（「がんプロ共通科目」（e-learning）が必修）。 ・「重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム・重粒子線医理工連携コース」の者は、（＊）の科目を1 単位以上含み、3 単位以上選択必修 ・「医療開発医科学コース」の者は2 単位以上を履修する。 (2) 医学基礎技術実習 3 単位以上を履修する。 ・「関東次世代がん専門医療人養成コース」の者は必修ではない。（「がんプロ共通科目」（e-learning）が必修） ・「重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム・重粒子線医理工連携コース」の者は、（＊）の科目を2 単位以上含み、3 単位以上選択必修 ・「医療開発医科学コース」の者は2 単位以上を履修する。 (3) 生命倫理公開セミナー 4 単位を履修する。 (4) 研究成果考察セミナー 研究発表討論セミナーを含み、4 単位以上を履修する。 ・「重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム・重粒子線医理工連携コース」の者は、研究発表討論セミナーに関してQE（Qualifying Examination）を行う。 (5) がんプロ共通科目 「関東次世代がん専門医療人養成コース」の者は、次の区分に応じ履修する。 ・がん治療を支える多領域人材養成コースの者 がん治療を支える多領域を含み、4 単位以上履修する。 ・がんデータ科学推進人材養成コースの者 がんデータ科学推進を含み、4 単位以上履修する。 ・がん治療イノベーション人材養成コースの者 がん治療イノベーションを含み、4 単位以上履修する。				
2. 専門科目 16単位以上 (1) 未来医療共通科目 「医療開発医科学コース」の者は2 単位を履修する。 (2) 特別講義 指導教員が指定する科目を含み、8 単位以上を履修する。 (3) 大学院チュートリアル演習 指導教員が指定する科目 4 単位以上を履修する。 (4) 専門分野技術実習 指導教員が指定する科目 4 単位以上を履修する。				

教 育 課 程 等 の 概 要																
(保健学研究科 保健学専攻 博士後期課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基幹 (助手を 除く) 教員	
共通 コア	医学哲学・倫理学セミナー	1・2通			2			○							2	集中講義 メディア オムニバス オムニバス 集中講義
	保健学特別セミナー	1・2通			2		○			1						
	医療政策学・医療経済学特講	1・2後			2		○			1						
	研究倫理特講	1前		1			○			4					4	
	研究倫理特講 (Eラーニング)	1前		1			○			1						
	医療人のための教育学Ⅰ	1・2前			2		○			1					3	
	医療人のための教育学Ⅱ	1・2後			2		○			2	2				1	
	多職種連携医療安全学特講	1・2後			2		○			5	2					
	小計 (8科目)	—	—	2	12	0	—			8	4	0	0	0	8	
看護学 領域	看護学研究概論	1通			2		○			2						
	基礎	基礎看護学特講			2		○			2						1 1
		基礎看護学演習			2			○		2						
		看護管理学特講			2		○				1					
		看護管理学演習			2			○		1						
		基礎看護学特別研究			4			○		2						
	応用	慢性・がん看護学特講			2		○			3						オムニバス オムニバス
		慢性・がん看護学演習			2			○		3						
		精神看護学特講			2		○			1						
		精神看護学演習			2			○		1						
		母子看護学・助産学特講			2		○			3						
		母子看護学・助産学演習			2			○		3						
		応用看護学特別研究			4			○		7						
		基礎腫瘍学		1			○			2	1					
		臨床腫瘍学概論		1			○			2	1					
		精神・社会腫瘍学と患者教育		1			○			2	1					
		医療ケアとチーム医療		1			○			2	1					
		がんゲノム医療（看護）学		1			○			2	1					
		小児・AYA・希少がん看護学		1			○			2	1					
		がんライフ・QOL看護学		1			○			2	1					
		がん治療を支える多領域連携		1			○			2	1					
		がんデータ科学推進		1			○			2	1					
		がん治療イノベーション		1			○			2	1					
	地域・ 国際	老年看護学特講			2		○			2						オムニバス
		老年看護学演習			2			○		2						
		在宅看護学特講			2		○			1						
		在宅看護学演習			2			○		1						
		地域看護学特講			2		○			1						
		地域看護学演習			2			○		1						
		国際看護学特講			2		○				1					
		国際看護学演習			2			○			1					
		生活習慣病疫学特講			2		○			1						
		生活習慣病疫学演習			2			○		1						
		地域・国際看護学特別研究			4			○		5						
	小計 (36科目)		—	12	52	0	—			14	3	0	0	0	1	
生体情報 検査科学 領域	生体情報検査科学研究概論	1後			2		○			7	3				1	オムニバス
	基礎	分子情報分析科学特講			2		○			2	1				5	オムニバス
		分子情報分析科学演習			2			○		2	1				3	オムニバス
		基礎情報科学特別研究			4			○		2	1					オムニバス
	応用	機能情報解析科学特講			2		○			2	1					オムニバス
		機能情報解析科学演習			2			○		2	1					オムニバス
		組織・細胞情報解析科学特講			2		○			2						オムニバス
		組織・細胞情報解析科学演習			2			○		2						オムニバス
		応用情報科学特別研究			4			○		4					1	オムニバス
	地域・ 国際	地域・国際疫学特講			2		○			1						
		地域・国際疫学演習			2			○		1						
		地域・国際情報科学特別研究			4			○		1						
	小計 (12科目)		—	2	28	0	—			7	3	0	0	0	8	

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基幹 教員 以外 の教 員 （助手を除く）		
リハビ リテー ション 学 領 域		リハビリテーション学研究概論	1 前		2			○				1						
	基礎	基礎理学療法学特講	1・2 前			2		○			2	1						オムニバス
		基礎理学療法学演習	1・2 後			2			○		2	1						オムニバス
		基礎作業療法学特講	1・2 前			2		○			2							オムニバス
		基礎作業療法学演習	1・2 後			2			○		2							オムニバス
		基礎リハビリテーション学特別研究	3 通			4			○		4	1						オムニバス
	応用	精神・脳機能障害リハビリテーション学特講	1・2 前			2		○			1	1						オムニバス
		精神・脳機能障害リハビリテーション学演習	1・2 後			2			○		1	1						オムニバス
		健康・スポーツ障害リハビリテーション学特講	1・2 前			2		○			2							
		健康・スポーツ障害リハビリテーション学演習	1・2 後			2			○		2							
		応用リハビリテーション学特別研究	3 通			4			○		1	1						
地域・ 国際	地域・国際リハビリテーション学特講	1・2 前			2		○			1								
	地域・国際リハビリテーション学演習	1・2 後			2			○		1								
	地域・国際リハビリテーション学特別研究	3 通			4			○		2								
	小計（14科目）	—	—	2	32	0	—			8	2	0	0	0	0			
合計（70科目）			—	—	18	124	0	—			29	9	0	0	0	17		
学位又は称号		博士（保健学）・博士（看護学）			学位又は学科の分野					保健衛生学関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等								
修了要件は、以下の要件を満たし、博士後期課程に3年以上在学して所定の単位（14単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者と研究科長が認めた場合は、2年以上在学すれば足りるものとする。										1 学年の学期区分				2 期				
										1 学期の授業期間				15週				
										1 時限の授業時間				90分				
必修科目として研究倫理特講1単位、研究倫理特講（Eラーニング）1単位（ただし、博士前期課程から博士後期課程に内部進学し、研究倫理特論および研究倫理特論（Eラーニング）の単位を修得済みの学生は、研究倫理特講の履修は不要であるが、別途既修得単位認定の申請を行った上で、研究倫理特講（Eラーニング）のみ履修すること）、所属する領域の研究概論2単位並びに指導教員等の開講する特講2単位、演習2単位及び特別研究4単位を履修する。																		
選択科目として共通コア科目を2単位履修する。																		

授 業 科 目 の 概 要				
(パブリックヘルス学環 博士後期課程)				
科目 区分	授業科目の名称	主要 授業 科目	講義等の内容	備考
基礎 科目	研究倫理		大学院生にとって不可欠な研究倫理に関する実践的な講義である。研究不正や利益相反などに力点を置くe-learning (Aprin) を補完する位置づけで、対面式の集中講義として開講される。倫理的な基本と実際的な手引きから構成され、研究協力者の募り方から、リスク/便益の評価、個人情報保護、倫理審査委員会の受審、試料・情報の保存、論文投稿までを扱う。最後には小グループに分かれてケーススタディを行う。 (オムニバス形式/全15回) (7 齊尾征直/10回) ガイダンス、研究倫理の背景、研究と診療の区別、リスク・ハームと便益の評価、プライバシーと個人情報保護、ケース・スタディ、小グループ討議、全体報告・意見交換 (20 滝沢琢己/1回) 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の審査の要点について (19 金泉志保美/1回) 被験者・研究協力者の選定・募集・謝礼 (28 森禎徳/1回) インフォームド・コンセントの成立史と諸解釈 (18 李範爽/1回) 情報開示・偶発的発見・有害事象 (16 南嶋洋司/1回) 論文投稿	オムニバス
	研究倫理 (e-learning)		「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」では「研究者等は、研究の実施に先立ち、研究に関する倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研修を受けなければならない。また、研究期間中も適宜継続して、教育・研修を受けなければならない。」とされている。専門分野で独創的あるいは学際的な研究を遂行する際にふまえておかなければならない倫理の基礎をカバーするのが目的である。 APRIN eラーニングプログラム教材は、米国の Collaborative Institutional Training Initiative (CITI) によって開発された教材をもとに、法律指針文化思想を我が国に即したものに「日本化」したうえで医学者のみならず他領域を含む専門家の査読をへて改訂されてきたものである。 大学院生(医学研究科)コース(15単元)を必修とする。研究不正(捏造、改竄、盗用)、利益相反管理、著者であることの要件や責任などを15回にわたって学修する。	メディア
	医科学英語論文作成演習		英語での科学論文作成法や研究発表法を、英語論文の執筆や日本人の英語論文校正の実務経験がある外国人講師に教授していただく。一部に簡単なプレゼンテーション演習を含む。	共同

科目 区分	授業科目の名称	主要 授業 科目	講義等の内容	備考
	医療人のための教育学Ⅰ		近年医療系学部教員にも教育学の知識が必要とされるようになった。そこで本講義と医療人のための教育学Ⅱを通じて包括的に教育学の知識を習得を目指す。本講義では、「医療人への医学教育の必要性」「教員論」「教育原理」「教育方法学」「情報リテラシー論」「教育方法演習」「道德教育論」を主に講義形式で学ぶ。 (オムニバス形式／全15回) (7 齊尾征直／1回)医療人への教育学教育の必要性 (24 新藤慶／2回)教員論 (26 村田祥子／5回)教育原理、教育方法学 (38 宮内洋／5回)情報リテラシー論、教育方法演習 (25 二宮祐／2回)道德教育論	オムニバス
	医療人のための教育学Ⅱ		近年医療系学部教員にも教育学の知識が必要とされるようになった。そこで本講義と医療人のための教育学Ⅰを通じて包括的に教育学の知識を習得を目指す。本講義では、「学生指導及び進路指導論」「教育心理学」「青年心理学」「教育相談論」「教育と社会・制度」「国際理解教育論」「医療系の教育学(臨床教育学)」「多職種連携教育論」を講義形式で学ぶ。 (オムニバス形式・共同／全15回) (7 齊尾征直／15回)ガイダンス、総括(共同) (31 打越正行／2回)学生指導及び進路指導論 (38 宮内洋／6回)教育心理学、青年心理学、教育相談論 (24 新藤慶／4回)教育と社会・制度、国際理解教育論 (27 山路雄彦／1回)多職種連携教育論	オムニバス 共同
	医学哲学・倫理学セミナー		臨床系分野に所属する院生は、倫理面で悩んだ自験例をめぐる医療倫理ケーススタディ・レポート、基礎系分野に所属する院生は医学哲学・倫理学上の任意のテーマでの総説レポートを提出する。優秀なレポート報告と教育講演から成る医学哲学・倫理学セミナー(年2回開催)に参加して討議を行う。	標準外
	保健学特別セミナー		保健医療領域の専門性はますます細分化され、その進歩は日進月歩である。細分化された最先端の研究を知り、それらを総合的に捉えて実践あるいは学際的研究に生かすために、各分野の専門教育研究領域における今話題のテーマについて、各分野の教育研究領域からテーマと講師を推薦させ、特別講演を行う。これらの講演は「看護学特別セミナー」、「生体情報検査科学特別セミナー」、「リハビリテーション学特別セミナー」、「地域保健医療研究概論」、「先端医療特論」とともに開催される。特別講演の選択は自由だが、24時間(講演回数としては12回)以上の受講すること。	標準外
	社会貢献促進セミナー		社会貢献に関する課題を大学院生自らが設定して実践し、公開セミナーの場で発表し、市民との討論を通して倫理・社会貢献への理解を深めることを目的とする。社会貢献促進セミナーの進め方、社会貢献プログラムに関する説明会の後、各自が社会貢献プログラムを立案・実施する。また、実施内容、考察等についてレポートにまとめる。	標準外

科目 区分	授業科目の名称	主要 授業 科目	講義等の内容	備考
専 門 科 目	臨床疫学特論		医療や健康諸問題のCQ、RQをもとに、そのクエス ションの解決に導くための臨床疫学手法を習得する ことを目的とする。基本的な疫学の知識をしっかりと 身に付け、臨床や研究の現場で役立てることがで きるよう演習形式で講義を行う。	
	システマティック・レビュー実習		医療の質・安全研究、臨床研究遂行に必要なシステ マティック・レビューの基本的知識を習得する。課 題の重点項目を講義で確認した後、実践課題に取り 組む中で必要な知識、技術、経験を高める。 (オムニバス形式・一部共同／全15回) (12 田中和美／13回) オリエンテーションおよび臨床研究概論に関する講 義 リサーチクエスションの作成に関する課題取り組み エビデンスの収集、文献整理、エビデンス評価に関 する課題取り組み メタ解析、診療ガイドライン、システマティック・ レビューに関する課題取り組み 総括、課題の発表（共同） (33 小松康宏／2回) エビデンスの収集、文献検索、レビューの種類に関 する講義 総括、課題の発表（共同） (36 比良野圭太／3回)システマティック・レビュー 入門に関する講義、メタ解析に関する講義 総括、課題の発表（共同）	オムニバス 共同
	社会医学・行動科学		公衆衛生学をはじめ、社会と医学および健康との関 わりについてオムニバス形式で授業を行う。 (オムニバス形式／全15回) (15 浜崎 景／3回)公衆衛生栄養 (30 山崎 千穂／3回)社会環境と健康 (29 Sekar Ayu Paramita／3回)Justice and Health (22 片山佳代子／3回)行動科学 (21 大上厚志／3回)環境科学	オムニバス
	医療政策学・医療経済学特講		医薬品、医療機器などの医療技術をどのように社会 に導入していくのか、厚生労働省などのわが国の医 療政策の流れを概観する。また、医療サービスの消 費を経済学的観点から理解することを目的とし、医 療財の特性、消費者行動、医療市場の動きなどのミ クロの視点から、医療と政策、財政のマクロな視点 まで含めて総合的に解説する。医療サービスの具体 例として医薬品を取り上げ、その開発、承認審査、 市販後安全対策の現状を紹介し、医薬品のベネ フィットとリスクのバランス評価の実際を具体的に 基づき解説する。 (オムニバス形式／全15回) (7 齊尾征直／1回)医療政策学・医療経済学総論 (37 福田 敬／6回)医療経済学 (39 森和彦／6回)医療政策学 (32 片野田耕太／2回)医療政策学	オムニバス

科目 区分	授業科目の名称	主要 授業 科目	講義等の内容	備考
	医療サービス研究・質評価実習		医療の質・安全研究、医療サービス研究・質評価を実施するための方法論を習得する。課題の重点項目を講義で確認した後、実践課題に取り組む中で必要な知識、技術、経験を高める。 (オムニバス形式・一部共同／全15回) (12 田中和美／14回) オリエンテーション (共同) 医療の質評価に関する実践演習取り組み 医療サービス研究に関する実践演習取り組み 総括、課題の発表 (共同) (33 小松康宏／2回) 医療の質評価学概論に関する講義 (共同) 総括、課題の発表 (共同) (35 東尚弘／1回) 医療サービス研究と疫学に関する講義	オムニバス 共同
	医療の質・安全学講義Ⅰ		医療安全の基本概念と最新の潮流を理解し応用できることを目的とする。基本的知識は課題文献、e-learning等で十分に予習し、実際の授業では重要事項の確認とディスカッションを中心に行う。	
	医療の質・安全学演習		医療の質・安全プログラムを開発・実践・評価できる知識とスキルを習得する。実践課題に取り組む中で必要な知識、技術、経験を高める。	
特別 研究	パブリックヘルス特別研究		指導教員のもとで、特定の研究テーマ・課題を設定し、研究計画立案から論文作成まで継続的な研究指導を受ける。特別研究特論及び特別研究演習で修得した知識・技能を現地調査(フィールドワーク)、資料収集、分析・統計解析、論文作成などで実践し、問題解決能力を身に付ける。 (1 大庭志野) 生活習慣病のリスクに影響を及ぼす曝露要因の疫学研究、糖尿病を含む生活習慣病の二次予防に関する研究、国際的な比較検討に資する集団のための尺度開発の研究、リスク因子の知識と疾病予防行動の研究 (2 大山善昭) 臨床研究デザイン、レギュラトリーサイエンス、生物統計学 (3 大山良雄) 疫学調査や公共データベースから得られたデータを用いた食事、運動、睡眠などの生活習慣と糖尿病などの慢性疾患との関連 (4 小澤厚志) 疫学データとゲノム情報を組み合わせた先制医療、予防医療に関する研究 (5 神谷 亘) ウイルスの複製増殖機構と病原性の解析 (6 小和瀬桂子) 地域医療、臨床推論、全人的医療、漢方医学、医学生総合診療能力獲得のための教育、漢方医学実習の教育効果 (7 齊尾征直) 病理組織及び細胞診検体を用いた機械学習を応用した疫学的データ解析法の確立 (8 齋藤貴之) 群馬県民の健康の保持・増進を目的とした県内の保健データ解析	

科目 区分	授業科目の名称	主要 授業 科目	講義等の内容	備考
			(9 佐藤由美) 群馬県内の特定健康診査・特定保健指導データを活用した保健指導の効果検証 (10 篠崎博光) 疫学調査データを用いた女性の健康あるいは喫煙による健康への影響 (11 田鹿 毅) 一般住民における運動器疫学調査から得られたデータやスポーツ選手における検診から得られたデータをもとに発症関連因子の解析 (12 田中 和美) 高信頼性組織理論に基づくチームワーク・リーダーシップ教育の開発と実装 医療安全教育コンピテンシーの同定と開発 (13 富田治芳) 薬剤耐性菌の制御法と院内感染症対策に関する研究 (14 秦 健一郎) ヒトの疾患や体質とゲノム（遺伝情報）との関連に関する研究、食生活などの環境因子によって変化するゲノム機能に関する研究 (15 浜崎 景) ビッグデータを用いた食品・栄養素・食事パターンなどと生活習慣病あるいはメンタルヘルスとの関連 (16 南嶋 洋司) ビッグデータを活用したヒトの疾患（特に老化・癌など）に関連する糖・脂質・アミノ酸代謝異常の原因分子・責任代謝経路の探索と同定 (17 三井 真一) モデル動物での網羅的解析、精神神経疾患の予防法の原理構築	

